



▲友好都市の長野県宮田村のブースでは、村の特産品が並び、大変人気を集めました

4/29
[日] 大地の恵みが
今年もいっぱい

農業祭がサンテパークたはらで開催され、約1万7000名が来園しました。会場には、地元産の新鮮な農産物や花木などを販売するブースが並び、終日買い物客でにぎわいました。

5/4
[金・祝] みんなに届け
緑花の思い

第15回市民緑花まつりがサンテパークたはらで開催され、約1万7200名が来園しました。田原文化会館から会場を移し、4回目となったこのイベント。来場者は、小学生が「私の好きな花」をテーマに描いた絵の展示の他、各種フラワー教室や、苗木・花苗の無料配布などで、花と緑に触れ合う一日を満喫しました。



▲花の寄せ植えを体験する子どもたち(子ども寄せ植え教室)

5/15
[火] 太陽浴びて
大きく育て!

ヒマワリの種まき体験が行われました。これはNPO法人田原菜の花エコネットワークが市内の保育園やこども園の園児を対象に毎年行っているもので、ヒマワリの栽培を通じて、子どもたちが「資源循環」や「環境と食と農」の関わりについて学ぶことを目的としています。園児たちは大きなヒマワリが育つようお願いを込めながら種まきを行っていました。



▲元気いっぱいに種まきを行う様子(北部保育園)